

6.IoT 技術活用分科会—IoT 技術を活用した多点観測による災害対策について 検討する—

西村 出（株式会社セブン-イレブン・ジャパン システム本部 総括マネージャー）

上石 勲（防災科研 首都圏レジリエンス研究センター 副センター長）

西村氏はこの分科会について、「産官学で取り組む。民間企業のデータや国・地方自治体のノウハウ、大学や研究機関の技術やアルゴリズムなど、災害時に必要なデータと技術を IoT で組み合わせ、1+1+1 を 3 ではなく 5 にも 10 にもしていきたいと思っています」と意欲を語りました。

「今後は気象災害の予報・予測をこの分科会の主なテーマにしたいと考えています」と西村氏。特定の地域の降雨・降雪量といった防災科研が行う気象予測を、大学の交通工学のアルゴリズムと組み合わせた渋滞予測（図表）を例に挙げ、「内閣府の災害情報ハブや徳島県のデータなどとも連携しながら、そういったことをしたいと考えています」と述べました。

上石氏は「民間のスピード感は学ぶべきところがあり、それについていけるように、一緒に頑張れるように活動を続けていきたいと思っています」と述べました。



西村氏（左）と上石氏（右）

6. IoT技術活用分科会

